

夫の呼び方・夫からの呼ばれ方

昭和61年 4月

ポーラ文化研究所

<調査>

1. 調査の趣旨

主に30～50歳代の主婦を対象として、経済企画庁がまとめた「人生80年時代の生涯家庭生活設計に関する調査」によると、親子のタテ意識が弱まり、夫婦のヨコ意識が強まってきているという。つまり、夫婦中心の生活へ比重を掛けようという姿勢が強いということである。

一方、「粗大ゴミ」「粗大生ゴミ」、果ては「産業廃棄物」などと、現役を離れた夫の行く末は余り明るく描かれず、中高年の離婚も増える傾向にあるが、これも裏を返せば個対個の夫婦関係重視の方向の一つの現われといえるであろう。

習慣的なものに過ぎないといってしまうとそれまでであるが、こうした夫婦関係の在り方の一側面をみるために、妻が夫をどう呼ぶかを中心に、一部、夫からどう呼ばれているかを含めて探ったのが本調査である。

2. 調査の概要

①調査対象……女性 216名（内：有効回答数 210名）

②調査時期……昭和61年 2月～ 3月

③調査方法……アンケート方式

3. 回答者の年齢構成及び未婚既婚別等

下記の表の通り、「既婚（子供あり）」の30歳代、40歳代の人々が主な調査対象となっている。従って、以下では「既婚（子供あり）」の人々を中心に結果を紹介することにした。

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳代	50歳以上	合 計
未 婚	5	5	5	1	1	1	18 人
	27.8	27.8	27.8	5.6	5.6	5.6	100.0%
既 婚 (子供なし)	—	2	4	1	1	1	9 人
	—	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	100.0%
既 婚 (子供あり)	1	7	57	57	45	16	183 人
	0.5	3.8	31.1	31.1	24.6	8.7	100.0%
合 計	6	14	66	59	47	18	210 人
	2.9	6.7	31.4	28.1	22.4	8.6	100.0%

<お問い合わせ先>

④ポラ文化研究所（村沢または藤井）

<結果の要約>

1. “親”であることが全面に出る……夫婦間……

夫婦間の会話では、総じて父親・母親としての呼び方がポピュラーである。（この項のみ、妻の呼び方、夫からの呼ばれ方を質問した）

・夫とのふだんの会話

妻の呼び方の主なものは「お父さん」「パパ」「あなた」であり、夫のそれは「お母さん」「ママ」「名前（呼び捨て）」である。

・家の中で遠くから呼ぶ時

妻では「お父さん」「パパ」の比率が高くなり、夫の主な呼び方は「お母さん」「ママ」「名前（呼び捨て）」「おい（お～い）」の4つである。

・少し甘い関係やふざけている時

妻では「愛称」「“ねえ”または“ちょっと”」が増え、夫の方でも「愛称」で呼ぶ比率が高くなる。

・仲が少々険悪な場合

夫は「お前」「おい」などと威圧的になり、妻は「主語なし」「無言」という抵抗を示す。

2. 30歳代半ばを境に「パパ」から「お父さん」へ……子供との間……

子供が小さいと「パパ」、大きくなると「お父さん」という移り変わりがはっきり出ている。「お父さま」などはごく小数。（この項以下は、妻が夫を呼ぶ場合のみ質問した。）

3. 名前に“さん”づけで……身内との間……

夫の名前に“さん”をつけるのが一般的な呼び方である。夫の実家の両親との会話に対し、自分の実家の両親や兄弟姉妹では「パパ」とか「愛称」が増える傾向があり、自分の兄弟姉妹の間では「主人」や「うちの人」または「うち」という呼び方も若干増える。夫の実家の両親とは「改まった顔」、自分の実家の両親とは「打ち解けた顔」、自分の兄弟姉妹とは「打ち解けた顔」と共に「よそよそしい顔」を伺わせる。

4. 「主人」が断然多い……親しい友人、知人との間……

「主人」という呼び方を除くと、学生時代からの友人としては「だんな」「ダンシク」「亭主」あるいは「“彼”または“あの人”」といった呼び方の比率が高く、ご近所の親しい人とは「お父さん」「パパ」が、夫の親しい友人とは「名前（“さん”づけ）」や「苗字（呼び捨て）」が多くなる。

5. 「主人」と「苗字（呼び捨て）」にしばられる……距離のある第三者との間……

夫の仕事関係の知人、初対面の第三者、使用人や目下の人には、もっぱら「主人」と呼ぶ。それ以外では「苗字（呼び捨て）」が主なもので、大勢としてはこの二つの呼び方にしばられる。

6. 「甘い関係の時」の年代差

呼び方、呼ばれ方にも、若い人には「愛称」などが増え、友達夫婦的感覚が伺える。

7. 未婚、既婚（子供なし）、既婚（子供あり）の比較……参考までに……

8. 付記……挿話として……

1. “親”であることが全面に出る……夫婦間

夫婦の間での呼び方については、4つの場面を設定し、夫をどう呼ぶか、夫からどう呼ばれるかを尋ねた。（以下、特別に断わらない限り、子供のいる既婚者の結果である。）

イ. 妻は夫を何と呼ぶか

（表1）は、それぞれの質問に対し、回答の多かった上位5位までの「呼び方」をピックアップし、これに対する各質問での回答数及び調査対象総数に対する回答数の割合を示したものである。

（表1）

場 面 呼び方		1		2		3		4	
		夫とのふだんの会話		家の中で遠くから大きい声で呼ぶ時		少し甘い関係やふざけている時		仲が少々険悪な場合	
父親	お父さん	52 ^人	28.4%	72 ^人	39.3%	25 ^人	13.7%	27 ^人	14.8%
	パパ	36	19.7	44	24.0	29	15.8	18	9.8
名前など	“さん”づけ（例、太郎さん）	20	10.9	22	12.0	16	8.7	6	3.3
	愛称など（注1）	11	6.0	8	4.4	21	11.5	6	3.3
2人称	あなた	49	26.8	23	12.6	34	18.6	35	19.1
その他	“ねえ”または“ちょっと”	10	5.5	9	4.9	18	9.8	16	8.7
	主語なし（注2）	4	2.2	2	1.1	1	0.5	25	13.7
	無言（注3）	--	--	--	--	--	--	19	10.4
無回答または該当なし（注4）		12	6.6	1	0.5	24	13.1	25	13.7
対象者総数		183 ^人	100.0	183 ^人	100.0	183 ^人	100.0	183 ^人	100.0

注1）愛称としては、太郎ちゃん、タックン、タロペーあるいはボクちゃん、仇名などを含めた。但し、「太郎くん」というようなキチンとした呼び方は含めてない。

注2）「主語なし」あるいは「呼ばない」などと明記したもののみを集計した。

注3）「無言」「話さない」「口をきかない」などと明記したもののみを集計した。

注4）質問では「該当しない項目や想定外の難しい項目についてはご記入頂かなくても結構です」としたので、「無回答」と、はっきり「該当するような場合がない」と記したものを集計した。

注5）なお、質問では「主としてどういう呼び方をしているか」としたが、複数回答（日常会話で「お父さん」と呼んだり「あなた」と呼んだりする）が多かったので全回答を集計すると調査対象者数を上回る。

「夫とのふだんの会話」では「お父さん」「パパ」「あなた」が主流であるが、「お父さん」と「パパ」をプラスすると48.1%にのぼり、夫婦間の会話でも夫を家庭の中の父親の座に位置づけて呼んでいる結果が出た。

「家の中で遠くから大きな声で呼ぶ時」は、「お父さん」と「パパ」の比率が更に高くなり、夫婦間の会話の時以上に父親としての配偶者の色彩が濃くなる気配である。「あなた」という呼び方も決して少なくないが、それでも「ふだんの会話」の際に較べると半分以下となる。

「少し甘い関係やふざけている時」には、さすが「お父さん」や「パパ」の比率は減るが、それでもなお、かなりの比率で呼んでいることがわかる。「ふだんの会話」に対し、この場合で比率が倍増するのが「愛称」と「“ねえ”または“ちょっと”」であり、やはりと思わせないでもない。また、「無回答または該当なし」も多く、質問にまともに答えにくいためらいもあるだろうが、起伏の少ない夫婦生活を伺わせないでもない。

「仲が少々険悪な場合」では、より特徴的な結果が出た。「主語なし」や「無言」の比率が高くなり、「パパ」「名前（“さん”づけ）」「愛称」などの比率が相対的に低くなる。角を出した奥様たちの姿が目に見えるような結果である。また、「少し甘い関係やふざけている時」と同様、「無回答または該当なし」が多い。

ロ. 夫から何と呼ばれているか

前項と同じ方法で「夫からの呼ばれ方」を集計したのが（表2）である。

（表2）

場 面 呼ばれ方		1		2		3		4	
		夫とのふだんの会話		家の中で遠くから大きい声で呼ばれる時		少し甘い関係やふざけている時		仲が少々険悪な場合	
母親	お母さん	34 ^人	18.6%	37 ^人	20.2%	14 ^人	7.7%	17 ^人	9.3%
	ママ	36	19.7	42	23.0	25	13.7	16	8.7
名前など	呼び捨て（例：花子）	52	28.4	52	28.4	51	27.9	31	16.9
	愛称など	14	7.7	8	4.4	39	21.3	6	3.3
2人称	お前	12	6.6	1	0.5	5	2.7	20	10.9
その他	おい	19	10.4	44	24.0	1	0.5	25	13.7
無回答または該当なし		11	6.0	7	3.8	32	17.5	25	13.7
対象者総数		183 ^人	100.0	183 ^人	100.0	183 ^人	100.0	183 ^人	100.0

「夫とのふだんの会話」では「お母さん」「ママ」「名前（呼び捨て）」が主流であるが、「お母さん」と「ママ」を足すと、38.3%となり、妻の場合よりは比率は低いものの、もっとも普遍的な呼び方である。

「家の中で遠くから大きな声で呼ばれる時」は「ふだんの会話」に比して「お母さん」と「ママ」が若干増えるものの「おい（正確には“お～い”である）」の比率が高く、「名前（呼び捨て）」と共に四つの呼び方（お母さん、ママ、呼び捨て、おい）が主なものとなる。

「少し甘い関係やふざけている時」は、「ふだんの会話」に比し「お母さん」はかなり減り、減り方の少ない「ママ」と合わせても20%程度になる。これに対し、「愛称」の比率が高くなり、「名前（呼び捨て）」と「愛称」をプラスすると49.2%となる。一般的には年長で妻を庇護する夫の立場の現われであろうか。「無回答または該当なし」の比率が高くなるのは妻の場合と同様である。

「仲が少々険悪な時」は、「お前」という威圧的な呼び方が多くなり、「ママ」「愛称」の比率が小さくなるのは当然としても、「名前（呼び捨て）」までが他のケースに比して少なくなる。また、遠くから呼ぶ時は別として「おい」も増え、全体的に夫が威圧的に出る傾向のあることがわかる。妻の方に多かった「主語なし」や「無言」は6位以下に落ちたため（表2）には記さなかったが

主語なし……16票 8.7 %

無言………13票 7.1 %

であり、少ないとはいえない。しかし、妻の場合よりも比率は低く、仲が険悪な場合、妻が「主語なし」や「無言」の抵抗を示すのに対し、夫は「お前」や「おい」という威圧的な戦術をとるという関係が明らかである。

2. 30歳代半ばを境に「パパ」から「お父さん」へ……子供との間……

子供とのふだんの会話で夫をどう呼ぶか。これは「お父さん」と「パパ」に集中しており、「お父さま」や「お父ちゃま」はごく少数である。

他の質問に比して呼び方の種類が少なく、その意味で年代の差もはっきりしており、34歳以下では「パパ」派が優勢であり、35歳以降では「お父さん」派が優勢となる。子供が小さいうちは「パパ」、子供が大きくなると「お父さん」と呼ぶようになる様子がよくわかる。

（表3）

	29歳以下		30～34歳		35～39歳		40歳代		50歳代		合 計	
	票	%	票	%	票	%	票	%	票	%	票	%
お父さん	2	25.0	26	45.6	34	59.6	29	64.4	13	81.3	104	56.8
パパ	5	62.5	27	47.4	15	26.3	12	26.7	6	37.5	65	35.5
お父さま他	1	12.5	3	5.3	4	7.0	3	6.7	--	--	11	6.0
N. A	--	--	1	1.8	4	7.0	1	2.2	--	--	6	3.3
対象者総数	8 ^人	100.0	57 ^人	100.0	57 ^人	100.0	45 ^人	100.0	16 ^人	100.0	183 ^人	100.0

注) 「お父さん」と呼んだり「パパ」と呼んだりする複数回答を含む。

3. 名前に“さん”づけで……身内との間……

子供以外の身内との会話で夫をどう呼んでいるだろうか。ここでは、夫の実家の両親との会話、妻の両親との会話、妻の兄弟姉妹との会話という3つの場合を設定して質問をした。

各質問において、それぞれ上位5位以内に入った「呼び方」を一覧したのが（表4）である。

（表4）

場 面 呼び方		1		2		3	
		夫の実家の両親との会話		妻の実家の両親との会話		妻の兄弟姉妹との会話	
父親	お父さん	17 ^票	9.3 [%]	18 ^票	9.8 [%]	9 ^票	4.9 [%]
	パパ	19	10.4	24	13.1	25	13.7
名前 など	呼び捨て（例：太郎）	20	10.9	21	11.5	20	10.9
	“さん”づけ	71	38.8	58	31.7	53	29.0
	愛称	8	4.4	12	6.6	14	7.7
苗字	“さん”づけ（例：田中さん）	12	6.6	7	3.8	5	2.7
配偶者	主人	8	4.3	6	3.3	10	5.5
	“うちの人”または“うち”	4	2.2	9	4.9	10	5.5
対象者総数		183 ^人	100.0	183 ^人	100.0	183 ^人	100.0

注）複数回答あり

いずれの場合でも「名前（“さん”づけ）」が多いが、妻の実家の両親や兄弟姉妹では少なくなる傾向があり、代わって「パパ」とか「愛称」が増える傾向がある。また、実家の兄弟姉妹とは「主人」とか「“うちの人”または“うち”」という呼び方が若干増える。

夫の実家の両親とは「改まった顔」、自分の実家の両親とは「打ち解けた顔」、自分の兄弟姉妹とは「打ち解けた顔」と同時に、お互いに独立した立場を意識した「よそいきの顔」が瞥見できないこともない。

なお、兄弟姉妹との間で、「パパ」は他の場面と同程度の比率であるが、「お父さん」という呼び方は減る。これは、実家の父親の呼び方とまぎらわしくなるからであろう。回答の中で「うちのお父さん」と書いた人がいたが、これらは「お父さん」の中に含めて集計してある。

4. 「主人」が断然多い……親しい友人、知人との間……

親しい第三者との場面として、学生時代からの親しい友人（女性）、ご近所の親しい人（女性）、夫の親しい友人（男性）との会話を設定した。

前項と同様、各質問それぞれで上位5位に入った「呼び方」を一覧にした。

(表5)

場 面 呼び方		1		2		3	
		学生時代からの 親しい友人（女 性）との会話		ご近所の親しい 人（女性）との 会話		夫の親しい友人 （男性）との会 話	
父親	お父さん	5 ^票	2.7 [%]	9 ^票	4.9 [%]	4 ^票	2.2 [%]
	パパ	8	4.4	11	6.0	3	1.6
名前など	“さん” づけ	8	4.4	6	3.3	17	9.3
苗字	呼び捨て（例：田中）	9	4.9	3	1.6	13	7.1
配偶者	主人	93	50.8	113	61.7	102	55.7
	“うちの人” または “うち”	10	5.5	14	7.7	7	3.8
	その他	18	9.8	6	3.3	2	1.1
3人称	“彼” または “あの人”	15	8.2	3	1.6	6	3.3
無回答または該当なし		4	2.2	3	1.6	9	4.9
対象者総数		183 ^人	100.0	183 ^人	100.0	183 ^人	100.0

注) 複数回答あり

「主人」という呼び方が、いずれの場面でもポピュラーである。

この3場面の中では「主人」という呼び方を除き

☆学生時代からの友人

「配偶者（その他）」や、「“彼” または “あの人” 」という3人称が多い。「配偶者（その他）」というのは、「だんな」「亭主」「ダンツク」といった類の回答であり、この中では、「だんな」が多く、18票中 8票を占めている。遠慮のない間柄で夫をちょっと脇に置いた呼び方がなされているのではないだろうか。

☆ご近所の親しい人

「お父さん」とか「パパ」がやや多い。子供を介しての付き合いが反映しているのであろうか。

☆夫の親しい友人

「名前（“さん” づけ）」や「苗字（呼び捨て）」が多くなり、ちょっと距離を置いた感じが強くなる。

という結果となった。

5. 「主人」と「苗字（呼び捨て）」にしぼられる……距離のある第三者との間……

同じ第三者でも、ちょっと距離があると思われるケースとして、夫の仕事関係の知人、初対面の第三者、使用人や目下との場面を設定した。

これらの場面では完全に「主人」と「苗字（呼び捨て）」に徹しており、（表6）のような結果を得た。

（表6）

場 面 呼び方	1		2		3	
	夫の仕事関係の 知人との会話		初対面の第三者 との会話		使用人とか目下 の人との会話	
苗字（呼び捨て）	33 系	18.0 %	13 系	7.1 %	7 系	3.8 %
主 人	130	71.0	148	80.9	118	64.5
対象者総数	183 人	100.0	183 人	100.0	183 人	100.0

注）複数回答あり

なお、使用人とか目下の人に対しては、「社長」「おじさん」「“うちの人”または“うち”」など、この3場面の中ではさまざまな呼び方がされており、その分、「主人」の比率が低くなっている。

6. 「甘い関係の時」の年代別の差

前掲のように「子供とのふだんの会話」では「パパ」から「お父さん」へという年代別の移行が比較的是っきり出ていた。調査数の関係もあり、他の質問項目ではもう一つ年代差がはっきりしないところがあるが、夫婦間の微妙な機微が出る「少し甘い関係やふざけている時」には、明らかに年代差が出ているので、それを記して置きたい。

まず、妻の側からの呼び方であるが、調査対象数の多い30歳代、40歳代で上位5位に入って呼び方を示すと（表7）のようになる。

（表7）

		20歳代		30～34歳		35～39歳		40歳代		50歳以上	
父親	お父さん	-- ^票	-- [%]	4 ^票	7.0 [%]	12 ^票	21.1 [%]	7 ^票	15.6 [%]	2 ^票	12.5 [%]
	パパ	1	12.5	14	24.6	2	3.5	11	24.4	1	6.3
名前など	呼び捨て	2	25.0	2	3.5	5	8.8	--	--	--	--
	“さん”づけ	--	--	8	14.0	5	8.8	2	4.4	1	6.3
	愛称	--	--	9	15.8	6	10.5	4	8.9	2	12.5
あなた		1	12.5	8	14.0	10	17.5	10	22.2	5	31.3
“ねえ”または“ちょっと”		1	12.5	8	14.0	4	7.0	3	6.7	2	12.5
無回答または該当なし		1	12.5	3	5.3	8	14.0	10	22.2	2	12.5
対象者総数		8 ^人	100.0	57 ^人	100.0	57 ^人	100.0	45 ^人	100.0	16 ^人	100.0

注）複数回答あり

この表から、「お父さん」や「パパ」は別として、

- ・ 夫の名前呼び捨て…… 30歳代までで40歳以降には1票もない
- ・ 夫の名前“さん”づけ……年齢が高くなるに従い減る傾向
- ・ 愛称…… 年齢が高くなるに従い減る傾向
- ・ あなた…… 年齢が高くなるに従い増える傾向
- ・ “ねえ”または“ちょっと”……年齢が高くなるに従い減る傾向
- ・ 無回答または該当なし…… 年齢が高くなるに従い増える傾向

は読み取ることができ、若い人の方が名前や愛称にこだわった呼び方をし、いわゆる友達夫婦的感覚でいることが伺える。

次に夫の側からの呼ばれ方を（表8）にまとめた。ただこういう場面での夫の呼び方というものは種類が少ないので妻の場合と異なり、上位3位までをピックアップした。

(表 8)

		20歳代		30～34歳		35～39歳		40歳代		50歳以上	
ママ		--	--	10	17.5	7	12.3	6	13.3	2	12.5
名前など	呼び捨て	3	37.5	17	29.8	19	33.3	11	24.4	1	6.3
	愛称	2	25.0	19	33.3	8	14.0	6	13.3	4	25.0
無回答または該当なし		1	12.5	5	8.8	10	17.5	13	28.9	3	18.8
対象者総数		8	100.0	57	100.0	57	100.0	45	100.0	16	100.0

注) 複数回答あり

「ママ」は別にして

- ・妻の名前呼び捨て
- ・愛称

} 年齢が高くなるに従い減る傾向

- ・無回答または該当なし — 年齢が高くなるに従い増える傾向

があり、妻の場合とほぼ同様のことがいえる。

7. 未婚、既婚（子供なし）、既婚（子供あり）の比較

子供のいない既婚者、未婚者（この場合は、結婚したら、どう呼び、どう呼ばれたいかを想定してよいとした）は、人数も少なく、年齢的にも若い方に偏っているので、子供のいる既婚者と比較をするのは無理であるが、参考までに、各質問でトップとなった呼び方、呼ばれ方をピックアップして、子供のいる既婚者全体のトップ（カッコ内に比較的年代の近い30～34歳のトップを記す）と比較して置いた。

		未 婚	既婚（子供なし）	既婚（子供あり）
夫 の 呼 び 方	1ふだんの会話 2遠くで呼ぶ時 3少し甘い関係 4仲が少々険悪	名前呼び捨て 名前“さん”づけ 愛称 あなた	名前呼び捨て 名前“さん”づけ・呼び捨て 名前“さん”づけ 名前呼び捨て・苗字“さん”づけ	お父さん（お父さん・パパ） お父さん（パパ） あなた（パパ） あなた（同じ）
夫呼 かば られ の方	5ふだんの会話 6遠くから呼ばれる時 7少し甘い関係 8仲が少々険悪	名前呼び捨て 名前呼び捨て 無回答・該当なし 名前呼び捨て	名前呼び捨て 名前呼び捨て 愛称 主語なし	名前呼び捨て（ママ） 名前呼び捨て（ママ） 名前呼び捨て（愛称） 名前呼び捨て（おい）
	9子供との会話	お父さん	無回答・該当なし	お父さん（パパ）
身 内	10夫の実家の両親 11自分の実家の両親 12自分の兄弟姉妹	名前“さん”づけ 名前“さん”づけ 名前“さん”づけ	名前“さん”づけ 名前“さん”づけ 名前“さん”づけ	名前“さん”づけ（同じ） 名前“さん”づけ（同じ） 名前“さん”づけ（同じ）
知 人友 ・人	13学生時代からの親しい友人 14ご近所の親しい人 15夫の親しい友人	主人 主人 主人	名前“さん”づけ・呼び捨て 主人 主人	主人（同じ） 主人（同じ） 主人（同じ）
	16夫の仕事関係 17初対面の第三者 18使用人または目下	主人 主人 主人	主人 主人 主人	主人（同じ） 主人（同じ） 主人（同じ）

未婚者の場合、結婚して子供がいない時のことを想定しているのかそうでないのかが明らかでない。しかし、大体において、未婚、既婚の子供の有無に関係なく、トップにくる呼び方、呼ばれ方は似ているといえる。

8. 付記

このアンケートは、呼び方をフリーアンサーとしたので、中には、いろいろと実感迫る表現やユーモラスな回答があった。そうしたものを、以下に挿話として原文のまま付け加えて置く。(カッコ内に注釈したもの以外は既婚子供ありの人)

イ. 家の中で遠くから大きい声で呼ぶ時

- ・ パ〜パ
 - ・ あなた〜 または お父ーさん
 - ・ パパー
- } (夫を呼ぶ)

ロ. 少し甘い関係やふざけている時

- ・ あなた〜
 - ・ こういう状態なし
 - ・ ねえねえ (未婚)
 - ・ 気持ち悪いので甘えて欲しくない (未婚) (夫から呼ばれる)
- } (夫を呼ぶ)

ハ. 仲が少々険悪な場合

- ・ 用件だけしかいわない。夫の方は「ママさん」という
 - ・ スミマセン！ 夫の方は「オイ、オマエ」という
 - ・ 冷戦状態、対話がなくなる
 - ・ あなた (語調を変えて)
 - ・ そういう状態なし
 - ・ あなたー (イントネーションはちがえて)
 - ・ そんな場面なし
 - ・ 無視する
 - ・ 絶対呼ばない
 - ・ それはありえない
- } (既婚子供なし)
- } (未婚)

以 上